



杉の子

No. 4
文責:校長

十和田市東三番町36-1
TEL 23-7178
特別支援教育センター
TEL 23-9553

本校の子供たち

校長 江渡 準 悦

6月、若葉のつややかな緑色が、目に映える季節となりました。

例年であれば、春の遠足・校外学習で、冬から暖かな春へと季節が変わっていく様を目や匂いで感じ取ったり、まぶしい日差しの中での運動会を行ったりと、五感をめいっぱい働かせての学習を重ねてきているところですが、今年はそれができないことについては、残念な思いがあります。しかしながら、年度当初に保護者の皆さまにお約束したとおり、『いつもと違う状況の中にあっても、子供たちには、いつもと変わらない体験や喜びを味わわせる』ことができるよう、尽力して参りたいと思います。

さて、本校の子供たちは、「基本的な感染予防」、「3密の防止」、「学校での新しい生活様式」に取り組んでいるのはもちろんですが、このことを除けば、いつもと変わらない真剣な姿で学習に臨んでいます。

教師やクラスメートの話に耳を傾け、自分の意見を発表したり、様々な製作活動（図画、書写、ナップザックづくりなど）を行ったり、委員会活動や学級での係活動に取り組んでいます。きっと「あれもしたい」、「これもしたかった」という思いを抱えていると思いますが、新しい生活に順応しようと努力をし、その上で学びを進めている子供たちの姿に、私自身日々勇気づけられております。それゆえに、本校の子供たちのために、こういった状況下の中においても、どうしたらより充実した教育活動が展開できるかについて、職員一同、不断の努力を払っていきたくと考えております。

新型コロナウイルスについて学習しました。



先月、学校の教育活動を再開するに当たり、「コロナウイルスについて考えよう」と題した授業を、1年生から6年生全ての学級で行いました。『①コロナウイルスってなに？ ②どのような症状があるの？ ③どうやって感染するの？ ④感染を防ごう！ ⑤ウイルスとたたかっている人を応援しよう！』といった内容について、**正しい知識を持って感染予防に取り組む力**を付けさせることと、感染者やその家族、治療にあたる医療従事者や社会機能の維持にあたる方々に対して、**偏見をもったり差別をすることのない態度**を身に付けさせることを目的に授業を行いました。

【授業を受けた子供たちの感想から】

・コロナウイルスはとても小さく目には見えないので、手洗いやうがいをきちんと

して、コロナウイルスに負けない身体にしたい。

- コロナウイルスにかかりたくて病気になる人なんていないのに、それを理由にいじめたり、県外ナンバーだからと言って車に石を投げたりするのはよくないと思います。相手の立場になって考えたい。
- お医者さんなどは、本当は家にいたくてもコロナウイルスと戦ってくれてとても感謝しています。大変な中でもいろんな人が協力し合っているのだから、私は人と人とのつながりは大事なんだなあと思えました。
- 自分たちは、病院やスーパーなどで働いている人たちに支えられているのに、悪く言う人を許せません。もっと感謝して生きていきたい。

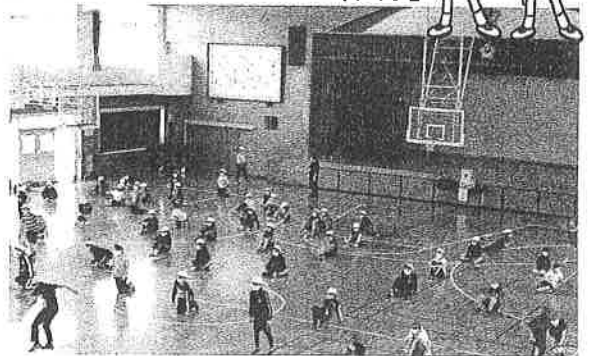
本校の感染予防策の紹介

本校では、「基本的な感染予防」、「3密の防止」を行うとともに、これに関連付けながら、下記の取組をしています。

【体育館で音楽♪】

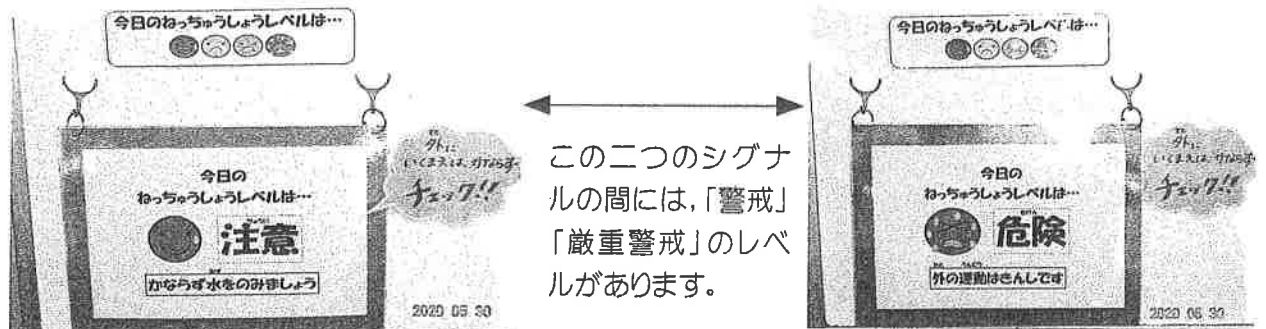


【2メートル離れての体育】



上記の2枚の写真は、体育館での授業の様子です。人との間隔はできるだけ2 m空けての授業を行うために行っています。プロジェクターも常設し、教材などをステージ上に拡大して投影し、離れていても全員に見える工夫をしています。

【熱中症予防シグナル】



先月27日に各ご家庭に配布した「新型コロナウイルス感染防止対策と熱中症予防対策のお知らせとお願い」でお伝えしたとおり、感染予防と熱中症予防を同時に行うといった、過去に例のない状況に対する対策を行っております。上記の写真は、その日の気象状況により、「今日はこういった活動ができるのか」「体育の種目はなにができるのか」「休み時間どんな遊びなら大丈夫なのか」を児童も職員も的確に判断するための指標を、児童玄関の子供たちがよく目にする場所に掲示しています。教師の指導に加え、児童会の体育委員会からも例えば、「今日の熱中症カードは黄色です。鬼ごっこ、サッカー、バスケットなどの走る遊びは止めましょう。」「遊ぶ前と後には必ず水を飲みましょう」などといった放送をかけて、注意を呼びかけています。